

報告書目次案

第1章 業務内容

- ・ 仕様書、提案書に基づき記述する。

- 1.1. 要約
- 1.2. 背景
- 1.3. 目的
- 1.4. 業務概要
 - (1) 業務名称
 - (2) 業務位置
 - (3) 履行期間
- 1.5. 業務の実施方針

第2章 播磨灘周辺域の物質循環に係る情報整理

- ・ 広域のデータについて整理する。
- ・ 情報収集項目との一覧表を載せる。
- ・ 自然的・社会的背景の説明をする。
- ・ 陸域の情報、河川の情報、海域の情報に分けて整理する。
- ・ シミュレーションの再現対象年次を決めるためのデータを整理する。

- 2.1. 概要
 - (1) 情報の収集方法
 - (2) 情報の整理方法
 - (3) 情報の収集結果表
- 2.2. 陸域
 - (1) 下水道（人口）
 - (2) 事業所
 - (3) 負荷量
- 2.3. 河川（加古川流域）
 - (1) 加古川
 - (2) ダム
 - (3) ため池
 - (4) 負荷量
- 2.4. 海域（播磨灘北東部海域）
 - (1) 地形
 - (2) 流況特性

- (3) 水質
 - (4) 漁業
 - (5) 生態系
 - (6) 赤潮
- 2.5. 環境関係の指定状況
- (1) 類型指定状況
 - (2) 区画漁業権
- 2.6. 環境保全に関する取組
- 2.7. 親水利用

第3章 播磨灘北東地域の問題事象の抽出・解析・対策検討

- ・ 情報整理と現地調査の結果を踏まえて、地域の栄養塩類循環状況を記述する。
- ・ 栄養塩類の循環状況についての問題事象を抽出する。
- ・ 対策案の列挙から対策案の絞り込み、選定までの過程を記載する。

- 3.1. 結果の整理方法
- (1) 地域の栄養塩類循環状況の解析方法
 - (2) 不健全な事象に対して対処すべき要因の抽出方法
 - (3) 要因に対して講じるべき方策の抽出と効果の評価方法
- 3.2. 地域の栄養塩類循環状況
- (1) 発生源・発生量
 - (2) 移流経路
 - (3) 形態変化
 - (4) 消費・取り上げ
- 3.3. 対策案
- (1) 実現可能性
 - (2) 対策実施に伴う他への影響
 - (3) 対策実施により期待する効果
 - (4) 対策実施の効率性
- 3.4. シミュレーションに必要な情報
- (1) 計算対象年
 - (2) 地形条件
 - (3) 流動場を表現するための情報
 - (4) 物質循環系を表現するための情報
 - (5) その他

第4章 播磨灘北東海域の現地調査

- ・ 現地調査結果と解析結果を記述する。
- ・ 追加調査の実施理由の記述をする。
- ・ 流況調査については、現地調査を実施しない理由を整理する。

- 4.1. 河川水の広域的拡散状況調査
- 4.2. 栄養塩類の形態別動向調査
- 4.3. 流況調査（物質収支モデル構築に必要な情報）
- 4.4. 追加調査

第5章 地域検討委員会の設置・運営

- ・ 検討委員会の実施概要、議事概要、資料等を掲載する。

- 5.1. 委員名簿
- 5.2. 実施状況
 - (1) 実施日・実施場所
 - (2) 検討内容の概要
 - (3) 設置要綱

第6章 実証試験計画案

- ・ 第2～4章の結果に基づき、実証試験計画案を作成する。
- ・ 選定した対策案について検討にあたり必要となる情報（シミュレーションモデル構造、現地調査計画案）を示す。

- 6.1. 目的
- 6.2. 方法

第7章 今後の課題と調査計画の立案

- ・ 平成23年度以降に向けた課題を記述する。
- ・ 平成22年度の検討を踏まえ、足りない情報についての平成23年度の現地調査計画案を作成する。

- 7.1. 今後の課題
- 7.2. 調査計画の立案